

中事業コスト計算書

（平成 25 年度事業）

1 第8次行財政改革大綱で掲げたこと

平成26年3月に策定した第8次行財政改革大綱では、「持続可能な行財政運営の推進」を改革の目的とし、改革の方策（プロセス改革の視点）のひとつとして効率的な行財政運営を掲げ、コスト意識の徹底強化に努めることとしました。

2 中事業とは

基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」に掲げる49施策と、行政活動の最小単位となる細事業を連動させるものとして、細事業を束ねる中事業があります。

3 行政コストの考え方

行政サービスにかかるコストについては、各中事業にどれだけの経費を投入しているのか、発生主義会計の観点から、事業費のみならず職員費、減価償却費等を含めた行政コストの総額（フルコスト）を明らかにしました。

発生主義会計…現金の収支とは無関係に、債権・債務が発生した時点でそれにかかる費用や収益、未払金や未収金等を帳簿に記帳する会計方式のことです。

職員費…職員（一般職員、任期付職員、任期付短時間職員、再任用職員）に支払われる給与（賞与を含む）です。

4 行政コストを算出した中事業

この計算書では、平成25年度に本市が実施した中事業の主要なものについて、行政コストを算出し31ページ以降に掲載しました。

5 今後の取組

フルコストによる行政コストを算出しましたが、より分かりやすいものとしていくために、中事業ごとの行政コストだけではなく、提供するサービス1件あたりの行政コストを明らかにしていくことにも、取り組んでいきます。